

松陽高3年

幸多 俊さん

マルチパーカッション



動きを撮影して研究

高校最後の節目、念入りに準備し「今までにない自信があつた」。静と動の楽章を組み合わせ、音楽性の幅を聴かせた。他部門よりも視覚的な表現が世界観を左右するこ

とから、自分の動きを撮影し研究したという。音階がない分理解されにくいと感じ、「奥深い楽器だ」ということをもつと伝えられるプロになりたい」と語る。

松陽高1年

岩井田さくらさん

ユーフォニアム



表現の広がりを実感

本選曲は優美な部分、さつそうとした部分といメージが移り変わる「明るくて不思議な曲」。聴かせどころが多く、「最後のハイトーンも決まりうれしかった」と振り返る。

音楽科に入学し、表現力の広がりを実感する日々。限られた時間で集中して取り組んだ練習が実を結んだ。「もつとダイナミックに」と追求を続ける。